

第53回東京スイミングセンター優秀選手招待水泳競技大会 競技会参加時の新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する 注意事項および誓約事項

1. 水泳競技会における感染拡大予防ガイドラインおよび大会主催者の指導や指示を遵守し、新型コロナウイルス感染症などの感染防止に努めること。ガイドラインおよび注意事項に違反した者または団体は出場停止の上、退場処分とする。
2. 大会初日の7日前以内に新型コロナウイルス感染の疑いや発熱などの症状が認められる者の参加を中止すること。また、登録団体は所属選手およびスタッフの健康状態を必ず確認すること。
3. 大会初日の7日前以内にチーム（クラブ）の中から新型コロナウイルス陽性者が発生した場合は、練習場所および練習時間を同じくする者の参加を中止すること。
4. 競技会会場への入場に必要書類等は正確に記入すること。引率責任者は所属選手およびスタッフ全員の書類について不備がないか確認すること。不備がある場合は入場を許可しない。また、記載事項に虚偽があった場合は当該団体の出場を禁止し厳重に処分する。
5. 主催者から競技会への欠場要請があった場合はそれに従うこと。
6. 競技会後7日以内に新型コロナウイルスに感染またはその疑いが生じた場合は、速やかに主催者に報告すること。
7. 感染症拡散防止の目的で保健所ならびに関係機関に健康管理表に記載の個人情報提供される場合がある。

追加要項

本大会は、中学生全学年が公益財団法人日本水泳連盟インターナショナル・ナショナル選手標準記録突破対象大会に指定されている。詳細は、日本水泳連盟ホームページを確認すること。

○参加状況

参加団体 395 参加選手 3473名（招待選手24名） 種目数 8813種目（招待選手87種目）

○全体スケジュール

| 期日 | 開門時間 | 予選競技 | | 決勝競技 | | 公式練習 | | 閉門時間 | |
|-------|-----------|---------|--------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | 競技開始 | 競技終了 | 競技開始 | 競技終了 | 練習開始 | 練習終了 | | |
| 公式練習日 | 11月22日(火) | 13 : 45 | 練習時間 (14 : 00 ~ 18 : 30) | | | | | | 19 : 00 |
| 1日目 | 11月23日(水) | 7 : 10 | 9 : 00 | 14 : 49 | 15 : 30 | 18 : 06 | 17 : 00 | 18 : 30 | 19 : 00 |
| 2日目 | 11月24日(木) | 7 : 10 | 9 : 00 | 15 : 10 | 15 : 30 | 18 : 24 | 17 : 00 | 18 : 30 | 19 : 00 |
| 3日目 | 11月25日(金) | 7 : 10 | 9 : 00 | 14 : 39 | 15 : 30 | 17 : 21 | 17 : 00 | 18 : 30 | 19 : 00 |
| 4日目 | 11月26日(土) | 7 : 10 | 9 : 00 | 15 : 27 | 16 : 00 | 17 : 48 | 17 : 00 | 18 : 30 | 19 : 00 |
| 5日目 | 11月27日(日) | 7 : 10 | 9 : 00 | 13 : 29 | 14 : 00 | 15 : 48 | なし | | 17 : 00 |

※11月23日(火)～26日(土) 公式練習入場時間 16 : 45

※大会期間中の公式練習は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、なるべく所属で練習すること。

1 競技について

- (1) 本競技会は、2022年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は、予選・決勝とも10レーンで、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 予選は区分に関係なく全区分で行う。
- (4) 決勝は予選の結果、区分に関係なく上位10名が出場できる。区分別の決勝は決勝進出者を除く上位10名とする。なお、棄権者が出た場合は、次点上位より順次出場権を与える。
- (5) 決勝進出において、同記録で定員を超えた場合は、スイムオフを行う。ただし、400m以上の種目は抽選とする。スイムオフ実施時刻の決定および決勝進出の抽選は、予選のランキング発表後15分以内にリゾリューションにて該当選手または所属責任者の立会いのもとで行う。なお、15分以内に該当選手または所属責任者が現れない場合は、スイムオフ出場または抽選を棄権するものとみなす。スイムオフまたは抽選を棄権した選手は、決勝進出の補欠には該当しない。
- (6) エントリー数が10名以下の場合でも予選競技を行う。
- (7) 招集は競技開始20分前から招集所（別紙「会場図」を参照）で行う。本人確認のために、招集所にはADカードを持参すること。招集所受付で水着の確認を行う。
- (8) 予選を棄権する場合は、実施当日の8時30分までにリゾリューションに棄権届出用紙を提出すること。指定時刻までに棄権届出用紙の提出がない場合は1種目あたり棄権料3,000円を徴収する。
- (9) 決勝の棄権はできない。やむなく棄権する場合は、該当予選競技終了後30分以内にリゾリューションに1種目につき棄権料3,000円を添えて決勝棄権届出用紙を提出すること。指定時刻までに決勝棄権届出用紙を提出しなかった場合は無断棄権とみなす。
- (10) すべての競技において無断で棄権した場合は、棄権料とは別に1種目につき3,000円の罰金を徴収する。
- (11) 棄権料・罰金に関して、当該選手が所属する団体は連帯してその責務を負う。
- (12) 決勝以外の競技のスタートはオーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水する。背泳ぎおよび各種目最終組は、完泳後速やかに自レーンより退水すること。決勝も自レーンより退水とする。ただし、競技の進行状況によって退水方法をプール横からの退水に変更する場合がある。
- (13) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自で行い、確実に固定されていることを確かめること。背泳ぎにおいてバックストロークレッジを使用しない場合は、自レーンの競技役員に申し出ること。
- (14) 800m・1500m自由形における周回通知は、折り返し側に周回板を提示し、コールは行わない。
- (15) ゴールタッチはタッチプレートの有効面に確実にタッチすること。
- (16) 予選は組のみの紹介、区分決勝は各レーンで紹介、決勝は入場ゲートで選手紹介を行う。
- (17) 選手は退水後、会場図記載のとおりサブプールへ退場すること。また、取材要請がある場合はインタビューエリアにてインタビューを実施する場合がある。
- (18) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。
- (19) 本大会は上訴審判団を設置する。

2 表彰について

- (1) 各種目1位～3位にメダルを授与する。
- (2) 各種目1位～8位に賞状を授与する。
- (3) 最も優秀な成績を収めた選手に田畑政治杯を授与する。
- (4) 優秀な成績を収めた各区分、男女1名に優秀選手賞を授与する。
- (5) 最終日の全競技終了後に優秀選手表彰式を行う。ただし、最終日の優秀選手表彰式に出席できない選手は選考対象外とする。

※メダル・賞状は第1ゲートデスクにて、大会期間中に受け取ること。

3 健康管理表兼参加同意書について

- (1) 健康管理表兼参加同意書（様式 A-05）は、各団体にてホームページよりダウンロードして出場選手およびチームスタッフに配布すること。（必ず指定の様式をダウンロードし、A4 サイズでプリントすること）
- (2) 本追加要項「15 大会参加にあたっての同意事項について」に記載の各事項に同意した者に限り会場への入場を許可する。同意事項をよく確認の上、同意欄に署名すること。18 歳未満の者は保護者の署名を必須とする。
- (3) 大会 7 日前からの体温と体調を正確に申告すること。
- (4) 健康管理表兼参加同意書は、選手・チームスタッフ問わず全ての入場者において提出を必須とする。大会参加の初日（公式練習日を含む）に入場受付に提出すること。（大会期間中 1 枚）

4 登録団体用健康確認票（兼誓約書）について

- (1) 登録団体用健康確認票兼誓約書（様式 T-03）は、各団体にてホームページよりダウンロードして持参すること。
- (2) 団体責任者は所属選手全員の健康状態を確認し、登録団体用健康確認票兼誓約書を入場受付に提出すること。（日毎に 1 枚）
- (3) 登録団体用健康確認票兼誓約書の提出が確認できない団体の出場は認めない。

5 ADカードについて

- (1) ADカードは各団体にてホームページよりダウンロードして団体の承認印を押印の上、出場選手およびチームスタッフに配布すること。（A4 サイズでプリントして 4 分割する。プリントはモノクロでも可）
- (2) 選手 AD は大会期間中選手 1 名につき 1 枚とし、必ず記名すること。
- (3) チームスタッフ AD は出場選手 5 名につき 1 枚発行できる。ただし、合計 5 枚を上限とし、追加発行はできない。
- (4) チームスタッフ AD は団体スタッフに限り使用できる。選手の家族や友人などの使用は禁止する。
- (5) ADカードは記名されている選手またはチームスタッフ専用とし他者への流用は認めない。
- (6) 会場内では常時 ADカードを携行すること。
- (7) ADカードを収納するケースは各自用意すること。（折らずに収納できるサイズを使用すること）
- (8) 大会期間中の体温と体調を必ず記入すること。
- (9) 出場最終日の退場時に ADカードを退場受付に提出すること。大会終了後に ADカード提出を確認できない選手の記録は抹消する。
- (10) ADカードは参加団体の責任において規定に則り発行すること。不正発行および不正使用を確認した場合は、当該団体を退場処分とする。

6 入退場について

- (1) 大会期間中（11/23日～27日）は、7時10分に開場しチームスタッフ（各団体1名）、その他選手の順で入場する。（注意）必要以上に早く来場しないこと。
入場を待つ間はマスクを着用し、密集しないよう対人距離を保つこと。
- (2) 入退場は、歩道橋直結白ゲートとする。（別紙「会場図」を参照）
- (3) 入場の手順は以下のとおりとする。
 - ①手指消毒
 - ②ADカードチェック
 - ③健康管理表兼参加同意書提出（出場初日のみ）
登録団体用健康確認票兼誓約書提出（日毎に1枚）

- ・記入漏れがないか事前に確認すること。
- ・健康管理表兼参加同意書は、あらかじめ手元に用意しておくこと。

④検温

- ・検温カメラで自動計測する。係の指示に従い1列でカメラの前を通過すること。
- ・37.5°C以上を検知した場合は、救護担当の指示に従うこと。

⑤入場許可スタンプ

- ・ADカードに許可スタンプを押印する。入場時の際、ADカードはケースから取り出しておくこと。
- (4) 入場手順のいずれかに問題がある場合は、救護担当者の判断により入場を許可しない場合がある。
 - (5) 出場最終日の退場時にADカードを退場口の受付に提出すること。
 - (6) 天候等の状況により開場時刻および入場方法を変更する場合がある。

7 控え場所について

- (1) 控え場所は観覧席、トレーニングルームのみとする。指定区域外への立ち入りを禁止する。
※控え場所は指定する。(別紙「会場図」を参照)
- (2) 荷物やカード・紐などでの場所取り行為を禁止する。一定時間以上放置された荷物類は、忘れ物として撤去する。また敷物は一切、禁止とする。
- (3) 観覧1階席最前列は危険防止のため使用不可とする。
- (4) 観覧席は対人距離を確保して利用すること。
- (5) メインプール更衣室は更衣のみとし、ロッカーの使用はできない。なお、荷物を放置しないこと。
- (6) サブプール更衣室は使用できない。

8 プールの使用について

(1) メインプール

- ① 水深2m、水温27.5度に設定する。
- ② ウォーミングアップは、競技開始15分前までとする。
- ③ ウォーミングアップ時のダッシュレーン・ペースレーン・公式スタート練習の設定は通告および電光掲示板で案内する。ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。
- ⑤ パドル・コード・フィン・シュノーケル等の使用は禁止する。
- ⑥ 決勝前のウォーミングアップは、当日の指示に従うこと。
- ⑦ 練習中はホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。

(2) サブプール

- ① 水深1.2~1.4m、水温28.5度とする。
- ② 1~3レーンを女子専用、5~7レーンを男子専用とし、4レーンは招待選手専用レーンとする。
- ③ 飛込みは禁止する。ダッシュレーンは設けない。
- ④ パドル・コード類の使用は禁止する。
- ⑤ 競技中を除き、ホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。

(3) ダイビングプール

飛込競技を行うため使用できない。

9 抗議

- (1) 本競技会は上訴審判団を設置する。
- (2) 競技に関する抗議は、事象発生後30分以内にその団体の監督または代表者が抗議書に必要事項を記入の上、抗議料10,000円(1種目あたり)を添えて審判長(リゾリューションで受け付ける)に提出すること。

10 公式練習について

- (1) 11月22日(火) 14時から18時30分まで大会会場で練習できる。
※メインプールのみ使用可能
11月23日(水)～26日(土) 17時から18時30分まで大会会場で練習できる。
- (2) 入場方法は「7 入退場について」に準ずる。
- (3) 入場は、選手・チームスタッフADカード所持者のみとする。一般の入場はできない。
- (4) 更衣は、メインプール更衣室を利用すること。ただし、ロッカーの使用はできない。
- (5) 荷物は個人またはチームの責任で管理すること。
- (6) プール利用方法は電光表示板に掲示する。
- (7) 練習中はホイッスルの使用を認める。ただし、電子ホイッスルに限る。
- (8) 指定されたエリア以外は立ち入り禁止とする。
- (9) プールサイドは一部設営作業を行っているので注意すること。
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、なるべく所属で練習すること。

11 監督者会議について

監督者会議は行わない。

12 感染症拡大予防について

- (1) 感染症予防ガイドラインに従い大会運営する。
- (2) ガイドラインに従わない場合、また大会関係者の指示に従わない場合は退場処分とする。
- (3) 大会会場内のみならず、往復の移動や日常生活においても感染症予防に努めること。

13 放送・配信について(予定)

YouTube「かわずちゃんねる」で全競技録画配信する。

<https://www.youtube.com/channel/UCKXDgeqAtqJwupKblJStFKQ>

14 競技結果(速報)およびスタートリストについて

- (1) 会場で競技結果の貼りだしは行わない。
- (2) 競技結果および決勝スタートリストはプログラム番号ごとに速やかに東京都水泳協会のホームページに公開する。

15 大会参加にあたっての同意事項について

- (1) 水泳競技会における感染拡大予防ガイドラインおよび大会主催者の指導や指示を遵守し、新型コロナウイルス感染症などの感染防止に努めること。
- (2) 新型コロナウイルス感染の疑いや発熱などの症状が認められる場合には参加を辞退すること。また、主催者から大会の欠場要請があった場合はそれに従うこと。
- (3) 大会後7日以内に新型コロナウイルスに感染またはその疑いが生じた場合は、速やかに主催者に報告すること。
- (4) 大会期間中に発生した事故・傷病・感染症は、自己または保護者の責任において対処すること。
- (5) 感染症拡大防止の目的で保健所ならびに関係機関に健康管理表に記載の個人情報が提供される場合がある。
- (6) 悪天候・自然災害または感染症流行等により大会が中止になった場合および自己または主催者の判断で出場取消しとなった場合でも申込金は返金しない。
- (7) 公益財団法人日本水泳連盟および公益財団法人東京都水泳協会が定める規則等を遵守すること。

16 その他

- (1) 選手の保護者を含め、応援・観覧のための入場はできない。
- (2) プールサイドは室内履きに関り使用を認める。
- (3) レースやウォーミングアップ時に脱衣した衣服は袋やナップザック等に入れて管理すること。
- (4) 忘れ物は、リゾリューションまたは受付にて保管する。最終日競技終了後、破棄する場合がある。
- (5) 貴重品は各団体の責任において管理すること。
- (6) 事故、怪我等の無いよう各団体において十分注意すること。
- (7) 会場内の設備、備品等を破損した場合は、所属団体の責任において弁償すること。
- (8) 駅、公園等での待ち合わせは、一般利用者の迷惑になることがあり、密にもなるので避けること。
- (9) 辰巳水泳場前や近隣への路上駐車は禁止する。また、送迎や駐車場空き待ちでの路上停車も禁止する。
悪質な場合は、警察と連携し対応する。
- (10) 東京スイミングセンターホームページに記載されている大会情報を確認すること。
- (11) 大会参加費（種目料等）の領収書が必要な参加クラブは、11月16日（水）までに、下記メールアドレスまで連絡すること。

17 問い合わせ先

東京スイミングセンター優秀選手招待水泳競技大会実行委員

tsc-invitation@tokyo-sc.com